

黄金石地藏尊

EqBf F/EqLs



Ver.1.0(201903)

災害伝承 DATA

所在地：長野県飯山市大字飯山神明町 3177
緯度・経度：北緯 36 度 51 分 36.0 秒
東経 138 度 21 分 45.7 秒

伝承形式：碑・石塔・石仏
種類／要因：地震、大火、洪水／地震、地すべり
災害発生：1847 年（弘化 4 年）3 月 24 日
建立時期：1848 年（弘化 5 年）
指定等：土砂災害警戒区域（地すべり）
周辺地形：丘陵・扇状地



観光情報はこちら

史実・伝説

大聖寺の僧が、ある夜に石段を上ろうとした時、目の前に突然白衣の老人が立ちはだかり、「(善光寺)地震で亡くなった我々の霊を慰めて下さい」といってその場から立ち去りました。翌年、和尚はその供養のため、地藏堂を建立しました。

周辺案内

大聖寺は、飯山藩主の堀、佐久間両氏の菩提寺で、いいやま七福神めぐりの一つ、毘沙門天が安置されています。飯山市常盤の柳新田公民館には、1742 年（寛保 2 年）に発生した「戌の満水」と呼ばれる千曲川大水害の七回忌に建立した地藏尊があります。近くには「溺死萬霊等（塔）」が建立されています。